

かなぎん 2020

ミニディスクロージャー
2019年度 営業のご報告



**KANA
GIN**

株式会社 神奈川銀行

ごあいさつ

皆さまには、平素より神奈川銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、皆さまに当行をより一層ご理解いただき、身近な銀行として感じていただけるよう、本誌を発刊いたしました。当行の経営方針や業務内容などを紹介しておりますので、ご参考にしていただければ幸いです。

昨今の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、経済活動の自粛によって、飲食業・観光業・サービス業等を中心に大きな打撃を受けた結果、後退局面にあり、感染症対策の進展次第によっては、さらに景気が後退するリスクがあります。金融情勢についても、新型コロナウイルス対策資金等による貸出残高の増加傾向がみられるものの、先行きが不透明な経済環境であることから、今後の動向について注視が必要です。

このような経済情勢において、当行では、地域の皆さまとともに成長を続け、ともに飛躍するという願いを込めて、2か年に亘る新中期経営計画『地域密着 かなぎんJump!』（2019年4月1日～2021年3月31日）を策定し、1年が経過しました。また本年6月から取締役会長に三村智之、取締役頭取に近藤和明が新たに就任しました。新体制の下、本計画の基本理念である「地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行」を目指し、「地域プレゼンス（地域における存在感）の向上」に、引き続き全役職員が一丸となって取組んでまいります。

そうしたなか、お客さまの利便性向上のため、2019年7月に〔㈱ローソン銀行・㈱イーネット〕とATM提携サービスを開始、12月には一部を除く提携ATM先のご利用時間帯の原則24時間化や、スマホ決済サービス「メルペイ」への普通預金口座からのチャージを開始しました。また、商品ラインナップの充実を図るため、2019年9月には個人のお客さまを対象とした、無担保ローン商品「住宅所有者フリーローン」「介護・多目的ローン」「住宅ローン利用者向けフリーローン」、2019年12月にはWEB完結型の「教育カードローン」の取扱いを開始しました。今後もお客さまの利便性向上のため、商品・サービスの向上に努めてまいります。

地域金融機関として、神奈川県内の地域経済活性化にも取組み、2019年8月に当行オリジナル・クーポンブック「使って得する神奈川応援ガイドブック」を昨年同様に発刊しました。また、お客さまの多様なニーズにお応えするため、本部・支店が連携し、ビジネスマッチングの推進や各種セミナー（事業承継・補助金活用・マネー）を開催しました。その他、SDGsへの取組みを通じ、経済・社会・環境の三側面において、各種目標の達成に向けて貢献すべく、当行においても取組みを開始しました。

今後とも、地元とともに歩む神奈川銀行に、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月



取締役会長

三村 智之



取締役頭取

近藤 和明

プロフィール

名 称：株式会社 神奈川銀行
 設 立：1953年7月30日
 (営業開始：1953年8月14日)
 本 店 所 在 地：横浜市中区長者町9-166
 資 本 金：5,191百万円
 預 金：4,345億円
 貸 出 金：3,572億円
 自己資本比率：8.32% (単体、国内基準)
 店 舗 数：34店舗
 従 業 員 数：369人
 ホームページアドレス：<https://www.kanagawabank.co.jp/>
 (2020年3月31日現在)

かなぎんの歩み

1953年	7月	株式会社神奈川相互銀行設立 (資本金500万円)
	8月	横浜市中区弁天通4-62において営業開始
1955年	5月	神奈川県中小企業会館内に本店移転
1976年	6月	預金業務オンライン開始
1978年	11月	新本店 (現在地) 完成、移転
1985年	10月	外国為替業務開始
1987年	6月	有価証券売買業務開始
1989年	4月	普通銀行へ転換、株式会社神奈川銀行となる
1991年	1月	サンデーバンキング開始
1995年	7月	株式会社かなぎんビジネスサービス (現・連結子会社) 設立
1998年	1月	オンラインシステム「STAR-ACE」開始
	12月	証券投資信託の窓口販売業務開始
2000年	10月	第三者割当増資により新資本金51億9100万円
2001年	4月	住宅ローン関連の長期火災保険の窓口販売業務開始
2002年	10月	個人年金保険の窓口販売業務開始
2005年	12月	横浜銀行とのATM提携サービスを開始
2007年	3月	セブン銀行とのATM提携サービスを開始
2009年	7月	医療保険及びがん保険の窓口販売業務開始
2010年	2月	新店舗「高座渋谷支店」オープン
	12月	学資保険及び終身保険の窓口販売業務開始
2012年	7月	新オンラインシステム「STELLA CUBE」開始
2015年	1月	金融商品仲介業務開始
2019年	7月	ローソン銀行・イーネットとのATM提携サービスを開始

店舗のご案内 (2020年3月31日現在)

店舗名	所在地	電話番号
本 店	横浜市中区長者町9-166	(045) (261) 2641(内)
横浜橋通支店 (ローンセンター)	横浜市中区長者町9-166 本店内	(045) (261) 2641(内) (045) (260) 2855(内)
横浜橋出張所	横浜南区真金町1-1	-
洪福寺支店	横浜西区浅間町5-384-1	(045) (311) 3021(内)
上大岡支店	横浜港南区大久保1-20-54	(045) (842) 1861(内)
六角橋支店	横浜神奈川区六角橋2-28-22	(045) (481) 6345(内)
中 田 支 店	横浜市区中田南3-1-7	(045) (802) 1365(内)
富 岡 支 店	横浜市金沢区富岡西7-15-17	(045) (771) 3651(内)
井土ヶ谷支店	横浜南区井土ヶ谷上町21-36	(045) (712) 2111(内)
芹ヶ谷支店	横浜港南区芹ヶ谷2-8-33	(045) (823) 1351(内)
蒔 田 支 店	横浜南区榎町2-41	(045) (742) 2611(内)
本 牧 支 店	横浜市中区本牧三之谷3-23	(045) (623) 3811(内)
末 吉 支 店	横浜鶴見区上末吉5-5-22	(045) (575) 2323(内)
瀬 谷 支 店	横浜瀬谷区南台2-11-3	(045) (303) 0321(内)
岡 村 支 店	横浜磯子区岡村8-1-28	(045) (761) 3314(内)
根 岸 支 店	横浜磯子区西町4-19	(045) (754) 3311(内)
弥生台支店	横浜市区弥生台13-6	(045) (813) 3711(内)
横浜西口支店	横浜神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビル1F	(045) (411) 2011(内)
戸 部 支 店	横浜西区中央1-8-20	(045) (319) 1385(内)
センター北支店	横浜都筑区中川中央1-29-24	(045) (910) 2230(内)
横 須 賀 支 店	横須賀市日の出町1-15-1	(046) (823) 1480(内)
長 井 支 店	横須賀市長井1-17-20	(046) (856) 3141(内)
平 塚 支 店	平塚市平塚2-31-9	(0463) (31) 2981(内)
茅ヶ崎支店	茅ヶ崎市共恵1-2-24	(0467) (82) 7171(内)
辻 堂 支 店	藤沢市辻堂1-1-15	(0466) (36) 3155(内)
藤 沢 支 店	藤沢市鶴沼石上1-5-7	(0466) (23) 2641(内)
六 会 支 店	藤沢市亀井野2-3-1	(0466) (82) 0551(内)
川 崎 支 店	川崎市川崎区宮本町6 明治安田生命川崎ビル1F	(044) (244) 7538(内)
中 原 支 店	川崎市中原区市ノ坪30-1	(044) (722) 9121(内)
渡 田 支 店	川崎市川崎区渡田向町29-16	(044) (245) 9781(内)
相 模 台 支 店	相模原市南区松が枝町24-10	(042) (743) 4511(内)
下 大 槻 支 店	秦野市下大槻410	(0463) (77) 2567(内)
桜ヶ丘支店	大和市福田5528	(046) (268) 1001(内)
高 村 支 店	平塚市高村203	(0463) (34) 1011(内)
高座渋谷支店	大和市渋谷5-22	(046) (267) 9921(内)

第12次中期経営計画「地域密着 かなぎんJump!」2019年4月1日～2021年3月31日（2か年計画）

当行では「地域の皆さまとともに成長を続け、ともに飛躍する」という願いを込めて、「地域密着 かなぎんJump!」を策定し、2019年4月1日から実施しています。「地域プレゼンス（地域における存在感）の向上」を目指し、私たちの理念である「地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行」の実現を目標に各種施策を実施してまいります。

私たちの理念

地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行

計画コンセプト

地域プレゼンス（地域における存在感）の向上

重点戦略

キーワード

1. コア業務の深化 2. お客さま本位の徹底 3. クイックレスポンス

営業戦略

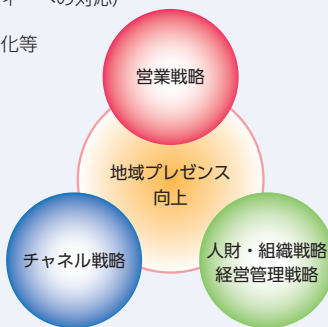
- 神奈川県内の中小企業および個人のお客さま向け取引の拡大・強化
 - └お客さま本位のソリューション営業の展開（フリーキャッシュフローの創出）
 - └お客さま志向の資産運用提案（フィデューシャリーデューティーへの対応）
- 地域活性化への取組み（経営課題の解決支援）
 - └事業性評価に基づく融資推進、事業承継に対する支援体制強化等
- サービス・商品の充実によるお客さま利便性の向上

チャネル戦略

- 既存店舗の機能強化（ATM網の拡大による利便性向上）
- 効率的な販売チャネルの構築・強化（各業務に特化した専門チームの活用）

人財・組織戦略、経営管理戦略

- 効率的な組織運営（BPRの推進・営業現場の意見の反映）
- 人財の確保および育成（専門人財・若手行員の育成）
- 経営管理態勢の強化（マネロン・テロ資金供与、金融犯罪への対応強化）



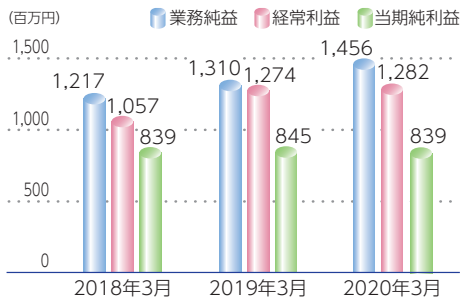
計数目標（2021年3月末）

業務目標	融資量	3,700億円以上
	中小企業等貸出金残高	3,350億円以上
	中小企業等貸出金比率	90%以上
	事業性融資取引先数	4,900先以上
	資金量	4,500億円以上
収益目標	業務粗利益	73億円以上
	業務純益	10億円以上

経営内容

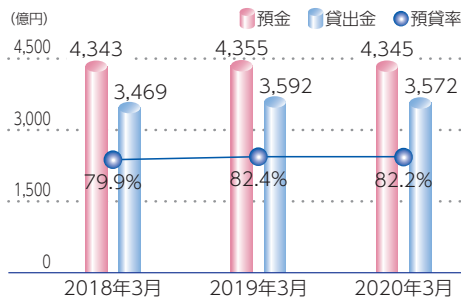
2020年3月期の業績概要

業務純益・経常利益・当期純利益の推移



銀行の本業から生じる業務純益につきましては、14億56百万円となりました。資金の効率的調達・運用による収益力向上や、役務取引等収益の増強に取組みました結果、経常利益は12億82百万円、当期純利益は8億39百万円となりました。

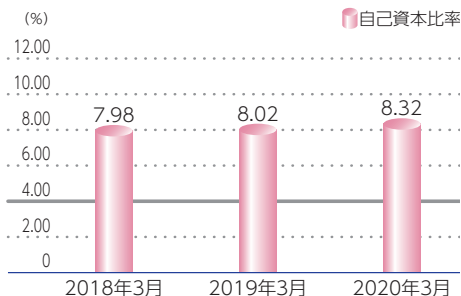
預金・貸出金残高の推移



預金は、法人預金が増加した一方、個人預金が減少した結果、前年同期に比べて10億円減少し、4,345億円となりました。

貸出金は、地元企業向けの融資を推進しましたが、前年同期に比べて20億円減少し、3,572億円となりました。

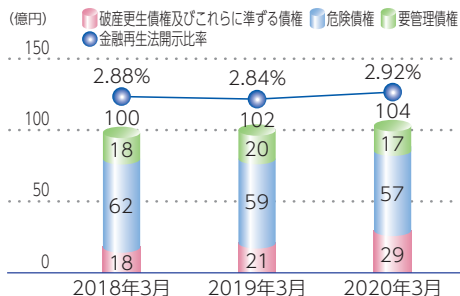
自己資本比率の推移



自己資本比率は、単体8.32%（連結8.33%）と国内基準行が健全とされる4%を大きく上回っています。

今後も良質な資産の積み上げを図るとともに、内部留保の拡充により自己資本比率の向上に努めてまいります。

不良債権比率（金融再生法開示債権）の推移



資産の健全性強化を経営の重要課題と位置づけ、不良債権への取組みを強化しています。金融再生法の開示基準による不良債権は104億円、総与信に対する比率は2.92%となりました。

地域への信用供与

当行は地域金融機関として、地域のお客さまからお預かりした大切な預金の多くを、地元である神奈川県内の中小企業や個人への貸出に向けています。

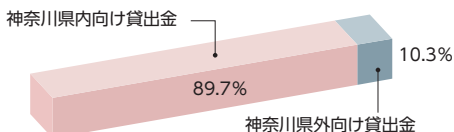
●●● 県内貸出に特化

当行の神奈川県内のお客さま向け貸出金残高は3,206億円であり、貸出金全体に占める割合は89.7%となっております。

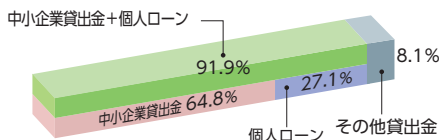
●●● 個人・中小企業貸出に特化

個人・中小企業向け貸出金残高は3,283億円であり、貸出金全体に占める割合は91.9%となっております。

神奈川県内向け貸出金割合（2020年3月31日現在）



個人・中小企業向け貸出金割合（2020年3月31日現在）



●●● 経営改善支援

本部及び外部専門機関と各営業店が連携し、お取引先とのコミュニケーションを密にすることで、経営改善計画の作成・実行などのサポートを行っています。

また、第二地方銀行協会などが主催する事業再生研修への参加や、融資渉外担当者を対象とした行内研修を実施するなど、行員のスキルアップを図っております。

2019年度は、ご支援先85先に対し、債務者区分のランクアップ5先という実績でした。

債務者区分		経営改善支援 取組み先	うち期末に債務者区分	
			が上昇した先	が変化しなかった先
正常先		12	—	9
要注意先	その他要注意先	62	4	54
	要管理先	2	1	1
破綻懸念先		7	—	5
実質破綻先		2	—	2
合計		85	5	71

地域サービスの充実

商品ラインナップの充実【教育カードローン】

2019年12月に個人のお客さまを対象とした、無担保ローン商品「教育カードローン」の取扱いを開始しました。本商品は最大1,000万円までご融資可能であり、ご来店も一切不要のWEB完結型のカードローンです。日頃お勤め等で銀行窓口へのご来店が難しい方でも、大変ご利用しやすい商品となっております。詳しくは当行ホームページでご確認ください。



商品ラインナップの充実【神奈川応援定期「絆(きずな)」】

2020年1月から2020年6月30日までの期間限定で、個人のお客さまを対象とした、寄付型定期預金「神奈川応援定期「絆(きずな)」」の取扱いを開始しました。取扱期間終了日の預入残高に応じた金額を、当行よりNPO法人フードバンク横浜に寄付いたします。地域金融機関として、SDGsの活動を皆さまと共有し、今後も持続可能な開発目標を推進してまいります。



金融経済教育

当行では、地元の小・中学生を対象とした職場体験の受け入れを行っております。営業中の店舗で紙幣・硬貨・機械に触れてもらい、お金の大切さや銀行の仕事内容等について学んでもらいました。その他、大学生を対象としたインターンシップや出張講座を実施しています。

今後も次世代のための金融経済教育に努めてまいります。



<渡田支店 職場体験>



<根岸支店 職場体験>



<鎌倉女子大学 出張講座>

提携ATMのご案内



イオン銀行



ローソン銀行 LAWSON BANK



セブン銀行



その他、横浜銀行・JR東日本のエキナカATM（VIEW ALTTE）等と提携しております。
ご利用時間帯・ご利用手数料等の詳細は当行ホームページにてご確認ください。

かなぎん口座開設アプリのご案内



ご来店不要で普通預金の口座開設が可能となる、個人のお客さま向けアプリです。

キャッシュレスサービスのご案内



スマホ決済サービス「メルペイ」に当行普通預金口座から、無料で即時に残高チャージが可能となりました。

株式のご案内

1. 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
2. 定時株主総会 毎事業年度末日から3カ月以内に開催いたします。
3. 配当金 (1) 期末配当金は、3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、取締役会の決議によりお支払いいたします。
(2) 中間配当金は、取締役会の決議により9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。
なお、配当金のお受け取りは、お近くの当行本支店の預金口座振込をご指定くださいますと早くて便利ですのでご利用ください。
4. 株式事務取扱場所及び取次所
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行 株式会社
取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部
取次所 三菱UFJ信託銀行 株式会社 本店及び全国各支店
連絡先・受付時間 0120-232-711（通話料無料） 9：00～17：00（土・日・祝・年末年始を除く）
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部
HPアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
5. 公告方法
当銀行の公告方法は電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、横浜市において発行する神奈川新聞に掲載いたします。
【公告掲載URL】 <https://www.kanagawabank.co.jp/>



発行編集 神奈川銀行 総合企画部
〒231-0033 横浜市中区長者町9-166
TEL 045-261-2641(代)